

白河地区保護司会

会報しらかわ

責任者 仁 暎 金 澤
 編集委員 会 員 字 仁 暎 金 澤
 会報アドレス
<http://www.srkw.or.jp/~mimo/hogoshi/>



赤滝 一阿武隈川239km.その最上流・源流の滝である一

保護司信条

私たち保護司は、社会奉仕の精神をもって

- 一、公平と誠実を旨とし、過ちに陥った人たちの更正に尽くします。
- 一、明るい社会を築くため、すべての人々と手を携え、犯罪や非行の防止に努めます。
- 一、常に研鑽に励み、人格識見の向上に努めます。

平成六年五月制定

阿武隈川の源流に思うこと

白河地区保護司会
会長 金澤 暎 仁

当保護司会は阿武隈川の源流に位置しています。先日衆議院議員の選挙がありました。多くの人が政治をわが事とせず、誰かが何とかしてくれるだろう、面倒なこと、自分が損することから目を逸らし、国や社会には、あれこれと依存しています。人が互いにもたれあい、頼りあっていたら、国も社会も成り立たず、事態は決してよくならないでしょう。

大河の源流は清流です。何時

の雨、雪か知りませんが、伏流水と成り、地上に現れ流れていく、川は常に自ら浄化しています。人も又自らが立ち直ろうとしています。

やらなければならぬのは分かっているけど、どういってもやる気が出ない。ついつい後回しにしてしまう。気が進まない、苦手だといって、避けて通れないことは沢山あります。どうせやらなければならぬことは、今、すぐ取り掛かりましょう。

今が人生の原点であり、出発点であります。さあ歩こう、準備の整ったところで、急がずあわてず始めの一歩。「いのち」の日々の安らぎを求めて。自然を破壊する矛盾に生きている、社会現実を直視しながら。



3 薬物乱用防止啓発活動

薬剤師会等他団体との連携事業

①街頭キャンペーン及び募金運動
 ○平成二十四年七月七日(土)
 ○メカステージ白河

②スクールキャラバンカー訪問事業
 ○白河地区七小学校で防犯教室開催(白河一小、白河二小、白河五小、小田倉小、滑津小、信夫一小、泉崎二小)

〈薬物乱用防止指導委員〉

高校生も参加協力

祝 表彰 おめでとうございます

十一月六日開催された東北地方及び県更生保護大会に於いて、各種表彰者の披露や表彰が行われました。白河地区の表彰者を紹介します。

法務大臣表彰 藤田 光徳

全国保護司連盟理事長表彰 大木 宏典

※内助功労者 藤田和子(藤田光徳氏の妻)

東北地方更生保護委員会委員長表彰 佐々木 國武

市川 輝夫 石田 久美子 福田 悦子 北島 一文 森田 一実

東北地方保護司連盟会長表彰 有賀 壽夫 菊池 千代子

福島県保護観察所長表彰 円谷 康夫 佐々木 直信 伊藤 正美 中野 瑞弘 間弓 ヒロ子

福島県保護司会連合会会長表彰 八巻 正男

受彰者の言葉
 表彰者代表 藤田 光徳
 保護司の任命を受け、丁度二十年目に法務大臣表彰の栄に浴することになりました。偏に先輩保護司の皆様また福島保護観

察所の皆様、特に主任官の方々にはお世話になりました。式典は日本教育会館(二橋ホール)で、昨年の九月二十七日二十八日に「平成二十四年度保護司等中央研修会」の中で厳粛に執り行われました。

表彰状及びメダルの受賞は第二十九回県更生保護大会の席上戴きました。さらに家内も内助の功で表彰され恐縮いたしました。しかし、思い返すと子供もまだ幼く、対象者をいつも抱えていたわけで、家内には感謝しております。

最後に矢吹の保護司の皆様には公私に渡り協力を賜りました。紙上を借りて厚く御礼申し上げます。

退任・新任 保護司紹介

■退任
 ・吉田 武夫 平成24年5月31日
 永年に亘る更生保護活動へのご尽力とご指導ありがとうございました。

■新任
 ・後藤 邦雄 平成24年6月1日
 ・大塚 勢津子 平成24年6月1日
 ・佐藤 昌子 平成24年12月1日
 ・芳賀 憲市 平成24年12月1日

『扉写真』にちなんで

西郷村は、「源流の郷」をキャッチフレーズとし、それを象徴するのが阿武隈川源流五滝。その流れは、正に清流。宮城県亘理町で太平洋に注ぎその流れを終える。

(撮影 緑川)

編集後記

●本紙は、この一年を振り返り、次年度を新たな心構えでスタートできる資料の一つになることを目的の一つとして発行されました。会員の皆様におかれましては、どんな一年だったでしょうか。

●東日本大震災も二年が経過するなか、今年度は「地区外研修旅行」が実施されるなど、各種事業が予定通り行われ、多くの成果を得て終了できたように思います。

●今年度より「広報委員会」が編成され、六名の委員が担当しました。発行にあたり、会長さんはじめ会員の皆様の指導と協力を得ましたこと、委員一同感謝しております。

〈広報委員会〉

2 第六十二回社会を明るくする運動

①メッセージ伝達

法務大臣より各市町村長へ

○白河市(七月十日)



福島保護観察所長より白河市長(代理)へ

○矢吹町(七月二日)
*地区担当保護司も出席



「居場所」を見つけられる社会に

福島保護観察所

所長 伊達 泰裕

白河地区保護司会の皆様には日頃更生保護事業にご尽力を賜り誠にありがとうございます。初めに白河の関を越え福島に赴任し一年が過ぎようとしています。東日本大震災、それに続く東京電力原発事故により被災され、また、今も厳しい生活を送っており、皆様には心よりお見舞い申し上げます。

暑かった昨年の夏、白河地区保護司会、更生保護女性会、地方自治体の方々やご当地ヒーローのダルライザーさんらとともに当地の社会を明るくする運動に参加させていただきました。それまで、浅学な私の白河地区に関する知識といえば、江戸時代の寛政の改革を行った白河藩主松平定信や意味を理解しないまま覚えた百人一首の歌程度でしたが、今では、自宅との往復時、新幹線の新白河駅を通る度に皆様の熱心な活動の様子が印象深く思い出され、白河の文字が心の中に強く焼き付いたように思います。



白河地区社明運動街頭啓発に参加 2012.7.10



研修旅行

晩秋の能登路

加賀・能登の自然・文化・歴史を研修

十月九日～十日

九日、北陸道能登の砂浜、千里浜渚道路を快適に走り、和倉温泉着、和やかな懇親会の中「正調おわら風の盆」が始まると、会員多数が踊りに引き込まれ、たくさん拍手を受けました。部屋は、目前に能登島・吊り橋が見え、翌朝は夕釣りを楽しみむ姿があり、穏やかな景色でした。

十日、輪島朝市は休日でしたが、次の千枚田では会津若松市から軽自動車で一般道路を走行してきた、妻運転の六代夫婦に出会いました。旅は三日目、今日は能登の祭太鼓や乗船を楽しむ予定で残り二日。全員の主人と安全で



全員で記念撮影



兼六園でその歴史と文化を研修

楽しい旅行を願って別れ、次は「兼六園」へ。命名者は白河藩主松平定信公で、加賀藩主前田斉泰公から依頼され、中国の名園に倣い「兼六園」、「私たち案内人は毎日の来園者二千人に、白河をPRをしていますよ」と、自慢げでした。

白河に無事帰着。会津若松の夫婦は「太鼓や乗船を体験するが健康者のようにには理解が難しい」と話してました。保護司活動にも通じることを感じ、対象者に適切な方向を地道に伝える努力を続けていきたいと思っています。
(広報委員 小松捷夫記)



今年度の活動

1 会議・研修会

■理事会

- 4・10 新年度事業計画
- 4・26 総会準備
- 12・12 事務報告、会報第二号発行について

■総会 5・14

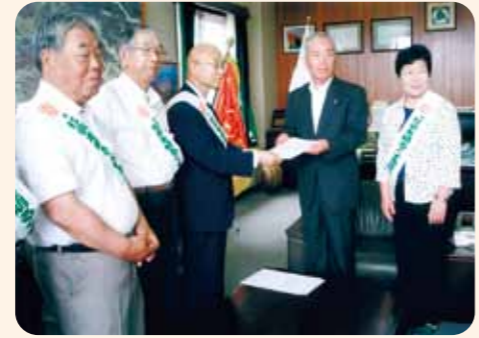
- 伊達泰裕福島保護観察所長、白河市長、西白河町村会長、白河警察署長、白河地区更生保護女性会長、白河地区保護司OB会長のご臨席をいただく
- 今年度の事業計画、予算案の決定

■研修会

- 5・14 第一期定期研修会
- 7・27 第二期定期研修会
- 9・28 自主研修会
- 11・29 矢吹支部研修会
- 12・12 第三期定期研修会
- 12・19 西郷支部研修会
- 2・15 第四期定期研修会
- 第28回東北地方更生保護大会及び第29回福島県更生保護大会 11・6
- 研修旅行 10・9～10・10
- ・加賀、能登の自然・文化・歴史を研修(参加者32名)

②街頭啓発活動

○西郷村(七月二日)
*地区担当保護司も出席



「社会を明るくする運動」は、昭和二十六年に、犯罪や非行のない明るい社会の実現を目指す地域の人々の熱い思いにより自発的に生まれた活動が原点となつて、全国的な運動です。多くの方々の御理解と御協力をいただき、回を重ねるごとに地域に根ざして着実に発展し、今年で六十二回目を迎えることになりました。

七月は強調月間として、「街頭啓発活動」が全国で実施されます。

○白河での活動

*シヨッピングセンター



○矢吹での活動

矢吹駅頭での啓発活動には、毎年光南高校の生徒会の皆様などが参加してください。今回は先生も加わり一層活動が盛り上がりました。野崎町長、保健福祉課の職員の皆様も毎年積極的に参加しています。



○西郷での活動

西郷地区では「西郷村ソフトボール少年団ナイター大会」に保護司として協賛しました。試合は七月二十一日より連日連夜、家族の大応援もあり大盛況でした。決勝戦は三十日に行われ、西郷村長旗、西郷村ソフトボール協会長杯が贈られました。



矢吹駅での活動



◎犯罪予防部会は社会を明るくする運動や更生保護思想の地域への普及並びに啓発活動等に取り組んでいます。
(犯罪予防部会)

